

2019年7月9日

**HSBC グローバル・アセット・マネジメント、
HSBC リアルエコノミー・グリーン・インベストメント・オポチュニティ
GEM ボンド・ファンド (REGIO) を設定**

- 当ファンドは、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの「環境インパクト・フレームワーク」に基づいて設定します
- 世界銀行グループのIFC（国際金融公社）がアンカー投資家として最大1億米ドルを拠出します
- ファンドは、各国、地域の金融市場へ持続的な資金調達能力を有し、新興国市場の「リアルエコノミー（実体経済）」を担う発行体を投資対象とします

HSBCグローバル・アセット・マネジメントは2019年6月4日（火）に、新しいグリーンボンド・ファンドとして、HSBCリアルエコノミー・グリーン・インベストメント・オポチュニティGEMボンド・ファンド（REGIO）^{注1}を設定したことを発表しました。当ファンドは、地球温暖化対策の枠組みであるパリ協定と国連総会がまとめた「持続可能な開発目標（SDG）」の下で、実体経済に貢献する投資機会を投資家に提供することを目的としています。

アンカー投資家のIFCとHSBCがそれぞれ1億米ドル、7,500万米ドルを上限にファンドに資金を拠出する計画です。IFCは世界銀行グループを構成する一機関であるとともに、サステナブル・ファイナンスへの民間セクターの参加を促進する主導的役割を担っています。IFCは2010年以降、16通貨のグリーンボンドを143本（合計90億米ドル）発行しました。

HSBCグローバル・アセット・マネジメントも当ファンドの支柱となる「環境インパクト・フレームワーク（Green Impact Framework）^{注2}」を発表しました。このフレームワークの狙いは、起債する可能性のある発行体に対して、REGIOが求めるグリーンボンドの適格基準を提示することにあります。またこのフレームワークによって、投資家と債券発行体で構成する社会の透明性や情報共有の向上が期待されます。

REGIOは世界の新興国市場（GEM）の実体経済^{注3}を担う発行体を対象とし、気候変動ファイナンスの普及や発行体の拡大を通じた、持続可能な資本市場の発展を目指しています。また地理的^{注4}にもセクター面でも多様化された投資機会を提供します。REGIOは5億米ドルから7億米ドルの資産残高を想定しており、主に新興国市場の非金融事業会社や実体経済企業^{注5}が起債する債券を柱として、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDG）」の達成を目指します。

HSBCグローバル・アセット・マネジメントのグローバルCEOを務めるスリドハール・チャンドラセカラン（Sridhar Chandrasekharan）は「当グループには世界の新興国市場への投資における深い知見と豊富な経験があります。国連が提唱する持続可能な開発目標の達成と、世界経済を低炭素化させる取

り組みに、資本を活用することで当グループの役割を果たしていくことを固く約束します。」と述べています。

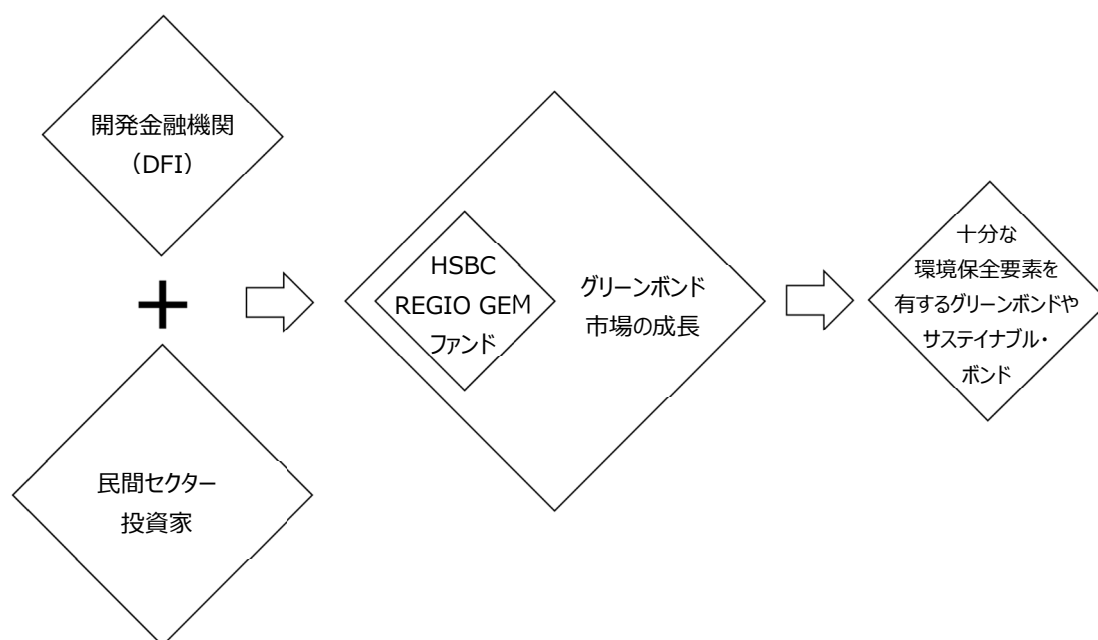
また、IFC（国際金融公社）のフィリップ・ル・ウェルー（Philippe Le Houérou）長官も「この革新的なファンドはグリーンボンド市場の重要な発行体に新しい機会を提供するものです。REGIOで調達される資本は気候変動対策ならびに持続可能性に軸足を置いた資本市場の発展に大きく寄与するでしょう。」と述べています。

HSBCグローバル・アセット・マネジメントは責任投資原則（PRI）に2006年という早い段階から署名し、英国のスチュワードシップ・コードにも2010年に署名しました。さらに2017年には気候変動関連財務情報開示タスクフォースを支持するとともに、公的資金、民間資金、慈善基金を組み合わせることで社会的課題に取り組むブレンドファイナンス（Blended Finance）のタスクフォースのメンバーになっています。

以上

注記：

[1] REGIOファンドはブレンドファイナンスとしての目的を有しています。投資家が目標とする金融リターンを確保することと、地球温暖化対策の枠組みを取り決めたパリ協定と国連総会がまとめた「持続可能な開発目標（SDG）」の下で実体経済に貢献する機会を投資家に提供することを目的としています。



[2]環境インパクト・フレームワーク（Green Impact Framework）に関する詳細は下記HSBCグローバル・アセット・マネジメントの下記URLにアクセスいただき、原本を参照してください。

<https://www.global.assetmanagement.hsbc.com/-/media/files/attachments/common/resource-documents/green-impact-framework.pdf>

[3] 一つの国の経済において財貨やサービスを生産している経済活動を指し、銀行や証券市場といった金融サービス含まないものを指します。

[4] HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、債務証券や金融商品の発行体に対する投資比率について、投資対象市場ごとに以下の目標基準を設けて合理的運用に努めています。

- アフリカ：20%以上
- アジア：20%以上
- 欧州：20%以上
- ラテンアメリカ：20%以上

[5]事業法人、製造業、農業ビジネス、サービス業、インフラ事業体、政府系機関。HSBCグローバル・アセット・マネジメントは産業分類基準（GICS）に準拠し、そのGICSでは世界中の産業は、エネルギー、素材、資本財、一般消費財、生活必需品、ヘルスケア、情報技術、金融、通信サービス、公益事業、不動産に分類されています。

IFC（国際金融公社）

IFCは世界銀行の姉妹機関ならびに世界銀行グループの一員であり、新興国市場の民間セクター開発に特化した世界最大の国際開発機関です。資本や知見を生かして世界中の2,000社を超える企業と協調して事業に取り組み、世界で最も過酷な地域において市場や事業機会を創出する影響力を発揮しています。2018年度には開発途上国に向けて230億米ドルを超える長期的資本を送り込み、民間セクターの能力を活用して極度の貧困の撲滅と繁栄の共有の促進に取り組みました。詳細は www.ifc.org をご覧ください。

HSBC ホールディングス plc

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる 66 の国と地域でお客さまにサービスを提供し、2兆6,590億米ドル（2019年3月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

HSBC グローバル・アセット・マネジメント

HSBC 投信株式会社が属する HSBC グローバル・アセット・マネジメントは、個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBC グループにおける資産運用部門の総称です。HSBC グローバル・アセット・マネジメントは 26 の国と地域に拠点をもち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。HSBC グローバル・アセット・マネジメント全体の運用資産は約 4,670 億米ドル（2019年3月末現在）です。

- 当資料は、HSBC 投信株式会社（以下、当社）が特定投資家のお客さま向けに作成した外国投資証券の説明用資料です。
- 当資料は、法令に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務、情報の根拠となるデータなどについて公開する義務を一切負いません。
- 当資料は、お客さま以外の第三者に配布されることを意図したのではなく、第三者へのコピー、譲渡、内容の開示をお控えください。

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 308 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会